



平成 24 年 5 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 T B グループ  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 村田 三郎  
 コード番号 6775 東証第二部  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 信岡孝一  
 (TEL. 03 - 5684 - 2321 )

### 通期業績予想と決算値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 23 年 11 月 11 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期の通期業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。また、特別損失の計上についても併せてお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想と決算値との差異

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

|                         | 売 上 高        | 営業利益        | 経常利益        | 当期純利益      | 1 株当たり当期純利益  |
|-------------------------|--------------|-------------|-------------|------------|--------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A)         | 百万円<br>4,530 | 百万円<br>△200 | 百万円<br>△180 | 百万円<br>△90 | 円 銭<br>△1.25 |
| 実 績 値 (B)               | 4,146        | △487        | △488        | △424       | △5.93        |
| 増 減 額 (B-A)             | △384         | △287        | △308        | △334       | —            |
| 増 減 率 (%)               | △8.5         | —           | —           | —          | —            |
| (ご参考)前期実績(平成 23 年 3 月期) | 4,299        | △293        | △323        | △406       | △5.66        |

平成 24 年 3 月期通期個別業績予想数値と実績値との差異（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

|                         | 売 上 高        | 営業利益        | 経常利益       | 当期純利益      | 1 株当たり当期純利益  |
|-------------------------|--------------|-------------|------------|------------|--------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A)         | 百万円<br>2,096 | 百万円<br>△122 | 百万円<br>△87 | 百万円<br>△63 | 円 銭<br>△0.87 |
| 実 績 値 (B)               | 2,021        | △288        | △268       | △596       | △8.31        |
| 増 減 額 (B-A)             | △75          | △166        | △181       | △533       | —            |
| 増 減 率 (%)               | △3.6         | —           | —          | —          | —            |
| (ご参考)前期実績(平成 23 年 3 月期) | 2,546        | △83         | △90        | 63         | 0.88         |

#### [差異の理由]

当連結会計年度の連結業績は、中小料飲食店及びサービス業向け LED 表示機及び電子レジスターが市場縮小及び節電の影響を受け売上高が大幅に減少しました。利益面では、売上高の減少による粗利額の減少、棚卸資産の評価損・廃棄等（67 百万円）を計上した結果、営業損失も大幅に増加しました。当期純損失は当第 4 四半期会計期間に特別損失として投資有価証券売却損 10 百万円、関係会社株式評価損 17 百万円、訴訟損失引当金繰入 8 百万円を計上したことにより増加しました。

個別の業績につきましては、利益面では、売上高の減少による粗利額の減少、棚卸資産の評価損・廃棄等（32 百万円）を計上した結果、営業損失も大幅に増加しました。当期純損失は当第 4 四半期会計期間に特別損失として投資有価証券売却損 10 百万円、関係会社株式評価損 3 億 45 百万円を特別損失として計上したことにより増加しました。

##### 2. 特別損失の計上について

個別での主たるものは、投資有価証券売却損 10 百万円、連結子会社の業績悪化に伴い関係会社株式評価損 3 億 45 百万円を特別損失として計上し、連結での主たるものは、投資有価証券売却損 10 百万円、関係会社株式評価損 17 百万円、訴訟損失引当金繰入 8 百万円を当第 4 四半期会計期間において特別損失に計上いたしました。

以 上